

# 山口県海外ビジネスサポートデスク 通信

10月号

シンガポール

## 令和5年度版「山口県海外ビジネスサポートデスク」

初めて海外ビジネス展開に取り組む県内企業様からのご相談も多いです！

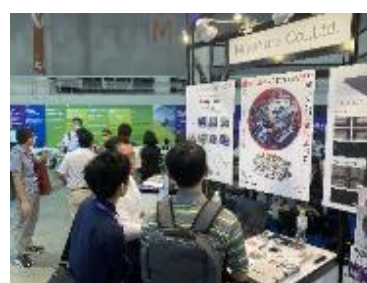
海外ビジネスを検討中の企業様は、ぜひご活用ください。

### ビジネスサポートデスクの活動状況

#### 1. SEMICON TAIWAN2023 での出展時サポート

9月6日～8日に台北市内で開催された SEMICON TAIWAN2023 には、山口県県内企業4社が出展されました。

当デスクでは、事前・展示会場内でのマッチングや通訳手配等のサポートを実施し、約300名のブース来訪がありました。台湾企業と県内参加企業との商談アフターフォローを行っていきます。



#### 2. デスクへのご相談件数・内容（9月末時点）

##### ・ご相談社数：県内企業様8社

※複数国を相談・ビジネス展開対象とされる企業様がいらっしゃいます。

※初めて海外ビジネス展開に取り組まれる企業様も4社。

##### ・主なご相談内容（テーマ）：

－対象国での事業展開に関するご相談

－販路候補先やパートナー候補先の開拓

－対象国での想定ビジネスに関する情報収集や現地企業等の調査等の内容でのご相談をいただいています。

### 3. 相談対応例

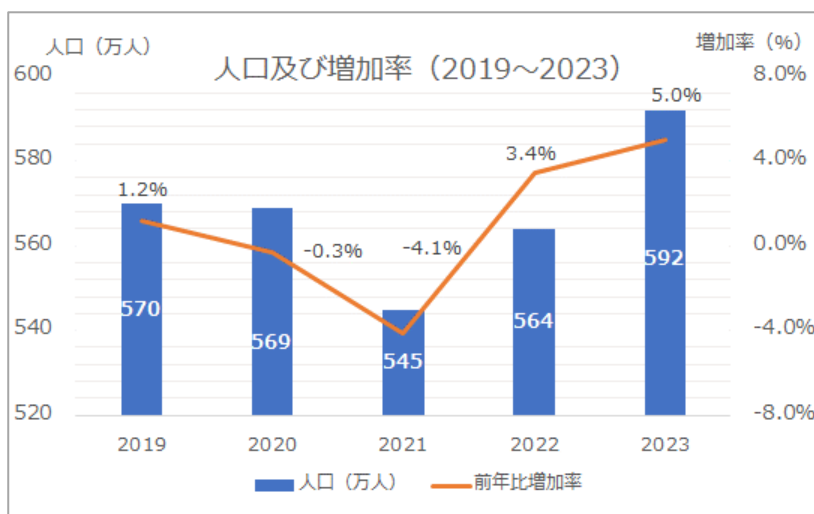
#### ■ アパレル品製造業企業様 「台湾を対象に新しいビジネスモデルを構築したい」

- ・ 台湾で製品・業界の情報収集を行うにあたって、訪問対象候補企業リストを作成。
- ・ 訪問対象候補企業リストから訪問希望先を企業様に選定いただき、現地企業への訪問・面談アポイントを調整。
- ・ 訪問時に現地コーディネーターが同行フォローを実施。

現地での情報収集後は、ビジネスモデルの検討・構築に向けて継続サポート中です。

### 現地情報・一般情報（シンガポール）

#### シンガポールの人口、過去最多 592 万人に



2023年7月末時点のシンガポールの人口は592万人で、2022年同月比5.0%増（564万人）となったことが同国政府から発表されました。

コロナ禍最中の2021年7月時点には545万人まで減少していましたが、入国規制の緩和が始まった2022年には3.4%増加、そして2023年7月までの1年間には5%増加し、2019年7月の人口（570万人）を20万人上回り、過去最多の人口となりました。

2022年と2023年の人口構成を比較すると、国籍保有者が6万人増、永住権取得者が2万人増、主に外国人労働者が占める非居住者が21万人増と、同国で就業する外国人労働者数の増加が過去最多の人口の要因になっています。

#### 【人口の構成】

単位：万人

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
国籍保有者	350	352	350	355	361
永住権取得者	53	52	49	52	54
非居住者	168	164	147	156	177

出典：シンガポール統計局のデータをもとにデスク作成

#### 直近のシンガポールの水産品市場における日本製品の動向

8月24日に、中国政府が、原産地が日本の水産物（食用水産物含む）の全面的な輸入を停止し、次いで日本産水産物の購入・加工・販売の禁止を発表しました。それ以降、主に中国を対象に事業を進めてこられた日本企業で、シンガポールを新たな販売相手国として販路開拓を進める企業や、シンガポールでの販売量拡大の意向を持つ企業等からバイヤーへの問い合わせが増えています。

シーフード好きな方々が多いシンガポールでは、寿司ネタとして人気の高いマグロ・サーモン・ホタテのほか、カニ・エビ・ウニなどの日本産水産品が輸入され、小売店・飲食店・ホテル等で提供されています。日系小売店の中には、店舗内のイートインスペースでオーダー制の寿司店を運営する店舗や、飲食店の中には日本国内の市場業者と直接取引し空輸して仕入れ店舗で提供する店舗もみられます。

2022年度に日本からシンガポール向けに輸出された水産品の輸出額は96億円（農林水産省）でしたが、今後日本企業の積極的な販路開拓活動を背景に、シンガポールに輸入される日本産水産品が増えていく

と考えられます。

## シンガポールへの外国人訪問者数と、渡航時に気をつけたい街中でのルール

2022年にシンガポールを訪問した外国人は、コロナ禍前の2019年に記録した外国人訪問者数（1910万人）の33%に留まり630万人でしたが、2023年は1月から8月までの外国人訪問者数は約901万人（前年比204.5%）と毎月100万人を超えるペースで堅調に推移しています。シンガポール政府観光局は、2023年初頭に外国人訪問者数を1200～1400万人と予測していましたが、現在のペースで推移すると、予測数値が達成される見込みです。

シンガポールへの外国人訪問者数の推移 単位：百万人

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
0.93	0.95	1.02	1.13	1.11	1.13	1.42	1.31

出典：シンガポール政府統計

展示会や商談等のビジネス目的で日本からシンガポールに渡航される方も増えており、県内企業の皆様からも「コロナ禍で渡航できなかったが、久々にシンガポールに渡航する」「ずっと行きたかったが初めて渡航する」等のお声を伺います。

コロナ禍を経てシンガポールでは新しい法規則が施行されています。そこで、改めてビジネス・観光でシンガポールに渡航される際には気をつけていただきたい主な禁止事項についてご紹介します。

### 【シンガポールでの主な禁止事項】

- ・自分が使った食器・トレイの未返却、ゴミ放置（ホーカーセンター、フードコート、コーヒーショップ等の飲食店において）
  - ・公共交通機関内での飲食、ドリアンの持ち込み禁止
  - ・ゴミのポイ捨て
  - ・チューインガムのシンガポール持ち込み、国内で食べることも禁止
  - ・公共の場での飲酒
  - ・公共の場でのつば吐き
  - ・鳩へのエサやり
  - ・蚊の発生原因になること
  - ・公共の場での音量をわきまえない音楽
  - ・横断歩道以外での横断
  - ・トイレを流さない
  - ・非常ベルを誤って鳴らしてはいけない
  - ・安全が十分でない、他人のネットワークを使ってしまうこと
- など。

シンガポールご滞在中は上記の禁止事項にお気をつけいただき安全にご活動いただくと幸いです。

※10月11日～13日にシンガポールで開催される「FOOD JAPAN」には山口県県内企業が出展されます。次レポートにて報告させていただきます。

以上